



信田みつやす した光保県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

圏央道の効果を銚子まで!

高規格道路網の機能充実に 銚子連絡道路の整備着実に



予算委員会で地図を指しながら道路整備を要望する信田県議

信田委員 圏央道の整備が着々と進む中で、アクアラインの800円の継続が決まりました。多くの皆さんの努力の結果であります。これで千葉県のさらなる発展に向け、大きく弾みがつきました。森田知事の信念と強いリーダーシップに対し、改めて敬意を表する次第です。昨年4月、待望の圏央道東金木更津間、約43キロが開通し、すでに供用されている東金―松尾横芝間を介して、銚子連絡道路の横芝光インターチェンジまでつながったこととなります。昨年末、県は平成26年度に向け、国の施策に対する提案・要望事項として、

圏央道、外かん道をはじめとする高規格幹線道路網等のネットワーク機能の充実に盛り込みました。そこで伺います。高規格幹線道路ネットワーク機能の充実にして、重点的にこの道路を進めていくのか。県土整備部長 全国及び県内各地との交流・連携や

香取・東総方面へ波及を

信田委員 圏央道の整備効果を香取・東総方面へ波及させるには、アクセス道路の早期整備が重要と考えるが、今後の整備方針はどうか。森田知事 圏央道は、昨年4月の木更津・東金間に続き、本年4月12日には茨城県稲敷から神崎までが、さらに来年度には神崎から東関道の大栄ジャンクション

までが開通する予定です。今後、県内外につながる圏央道の開通効果を、香取・東総方面へ広く波及させることが、大変重要だと考えており、アクセス道路となる銚子連絡道路や国道356号など、重点的に整備を進めていくこととしています。

要望 銚子連絡道路の1日でも早い整備促進をお願いしたい。

356号バイパス整備

信田委員 神崎インターチェンジから銚子方面への国道356号バイパスの整備状況と今後の見通しはどう

か。県土整備部長 国道356号は、圏央道神崎インターチェンジから銚子方面に

地域の防災力の充実強化を図るため、現在作業中の圏央道や外かん道について、早期に全線開通を図ることが必要だと考えます。また、合わせて交通渋滞の激しい京葉道路や東京湾岸道路などの湾岸軸の強化さらには館山道や圏央道の4車線化を進め、円滑な交通の確保を図っていくことが重要です。また、これらのネットワークを補完する北千葉道路または圏央道の効果を県内全域に波及させる銚子連絡道路や長生グリーンラインなどの整備についても、着実に進めていく必要があると思っております。

要望 国道356号未整備区間の佐原・小見川区間及び東庄・利根かもめ大橋区間の早期事業化を要望します。

●県政や銚子市のご相談をお気軽にお寄せください…

した光保事務所 〒288-0044 銚子市西芝町13-20 Jビル2F
TEL.0479(25)3284 FAX.0479(22)1816

銚子の水産業活性化に向けて!



副委員長として予算委員会を仕切る信田県議

水産振興計画の施策

信田委員 千葉県は、平成23年の統計になります。海面漁業生産量で全国第4位、金額で第11位と全国有数の水産県です。県は昨年末、「千葉県農林水産業振興計画」を策定し、水産業の振興についても、この計画のもと、今後各種施策が講じられることになっていきます。この計画に基づき、水産業の振興に向け、どのような取り組みを行っていくのか。

農林水産部長 県では、振興計画の中で水産業の振興に、

- ① 資源管理の推進など漁業生産の維持増大と省エネ型漁船の導入など、コスト削減による収益性の高い操業体制づくり
- ② 銚子など拠点漁港の整備による産地機能の強化
- ③ マーケットが求める高鮮度な魚介類提供による水産物需要のさらなる開拓など、各種施策に取り組んでまいります。

黒生地区の岸壁整備

信田委員 銚子漁港黒生地区におけるマイナス7.5メートル岸壁の整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。

農林水産部長 黒生地区の岸壁については、水深7.5メートルを確保し、また、震災時などの緊急時での救援物資の輸送も可能となるよう、耐震性を強化した岸壁として整備を進めているところです。

岸壁本体の工事はすでに完了し、今年度、岸壁前泊地の静穏を確保するための防波堤が完成する見込みです。引き続き、泊地の浚渫と臨港道路の整備を進め、平成28年度中には大型まき網船の水揚げ作業が可能となるよう要望します。

第1市場の完成間近

信田委員 平成26年度に銚子漁港第1市場が高度衛生管理型市場として完成する計画ですが、どのような効果が見込まれるのか。

農林水産部長 新たな市場は

- ① 閉鎖性を確保することで風雨や鳥類に対する衛生対策の充実
- ② 殺菌し、冷却した海水による魚の洗浄や鮮度保持など、徹底した衛生管理や品質の向上を図ることができ、施設として整備することとしています。

こうした市場の機能強化によって、産地価格の向上が見込まれ、銚子産水産物のブランド力が強化されるものと考えています。

また、市場には見学通路や加工品の販売施設も併設されることから、新たな観光資源として、地域活性化にもつながるものと期待されます。

漁業生産の基盤となる漁港・流通施設の整備をできるだけ早く実施し、他県に負けないよう産地機能の強化を推進してまいります。



銚子商工会議所の陳情に同席する信田県議(後列左)

キンメダイが減少傾向 銚子をモデル地区として調査!!



銚子つりきんめをPRする信田県議

信田委員 千葉県ブランド水産物第1号の「キンメダイ」の水揚げがここ数年、減少しています。キンメダイに関して、県は具体的にどんな調査を行っているのか。

農林水産部長 県ではこれまで、漁業者と連携してキンメダイの漁獲量調査や個体の大きさの測定などを行っており、資源は減少傾向と認識しています。また、漁業者からの要望を受け、漁場の拡大の可能性を探るため、調査船「千葉丸」により、現在の漁場の沖合いを魚群探知機で調査し、結果を漁業者に提供したところです。

さらに、東日本大震災後の漁場環境を把握するため、銚子沖の海底付近のビデオ撮影や水温、塩分濃度の測定などの現地調査を国の機関と連携して来月にも実施する予定です。

洋上風力事業化のメリット

信田委員 水揚げの減少が続く中、キンメダイ資源の維持を図るには、より実効のある資源管理を行っていく必要があると考えますが、今後、県としてどのような対応を行っていくのか。

農林水産部長 キンメダイについては、これまで県の調査結果をもとに、漁業者は県と連携して小型魚の再放流や禁漁区の設定、使用エネルギーの事業化により、発電施設の設置やその管理に関連する産業の振興、視察や地元観光施設との連携による観光客の増加などが、

さまざまな波及効果が考えられます。

また、漁業者にとっても、洋上の発電施設等の基礎部部における漁礁効果や、漁業関連施設等への電力の供給、さらに風況・海況データのリアルタイムでの提供などがメリットとして考えられています。